



風の一座



作・構成演出／中島研 美術／有賀二郎 音楽／曲尾友克
衣装／岡本颯子 振付／桐山良子 制作／吉野由起

●イメージあそび

手をつないだり、顔や体がふれあったりしていると、どんどんイメージがひろがって……



■上演にあたって

子どもの成長にとって、いや、きっと人間だれにとっても、何より大切な遊び…

遊びは想像する楽しさ、創造する喜び

心が自由に寛容になる魔法
人への信頼や自分への自信をつくる術

どうぞ、心の翼をいっぱい広げて、遊びの時間を楽しんでください。

●ふわふわコーナー

(おはなし「いろんな雲」)
紙や布やヒコークを、風に乗けて、飛ばしてみよう……



●おしばい(どちらかを上演します)

「おばけたんぼぽ」(低学年向き)

作／岡本颯子

世界でいちばんちいさな国の、世界でいちばんちいさな野原に、世界中からたんぼぽのわた毛がとんできました。たんぼぽのわた毛が集まると、雨がふり、おひさまが照り、いままでみたこともない大きな大きなたんぼぽが咲きました。

国中からいろんなひとが、このたんぼぽのまわりに集まると、とてもふしぎなことが起こりました。



「奥山譚(おくやまばなし)」

(高学年向き)

作／多田徹 上演台本／大洞弘幸

山の奥にひとりで生きている爺さんと、獲物を捕らえて暮らしている猟師と、たぬきの子ども豆太が織りなす物語。ある日、爺さんのところに豆太という子どもがやってきた。お腹の空いている豆太にごちそうしてやると、すやすや寝てしまった。よくみると豆太の尻には尻尾が…。思わず鉄砲をかまえる爺さん。しかし、あまりにかわいい豆太の寝顔。そこへ、大だぬきを追って猟師がやってくる。…

